



3年ぶり11度目の優勝を果たし、マウンドに集まって喜びを爆発させる八戸学院光星ナイン=22日、はるか夢

光星3年ぶり頂点

工大一下す

高校野球青森大会

第104回全国高校野球選手権青森大会最終日は22日、弘前市はるか夢球場で決勝が行われた。12年ぶりの八戸地区勢対決となった頂上決戦は、八戸学院光星が6-5で八戸工大を下し、3年ぶり11度目の優勝を飾った。全国高校野球選手権大会は8月6-22日、兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で行われる。

12、13ページに詳細
24、25ページに連続記事

雨の影響で、試合は約1時間遅れの午後2時ごろに始まった。八学光星は二回、織笠陽多、深野友歩の適時二塁打で2点を先制。四回は2死満塁から、中澤恒貴の右翼フェンス直撃適時二塁打で2点を追加した。五回は織笠の左越えソロ本塁打、六回には池上智史の適時打で1点ずつを加え、リードを広げた。投げては6人の継投で猛追を振り切り、春夏通算21度目の甲子園出場を決めた。

工大一下す
工大は主戦右腕廣野風

八学光星	0	2	0	2	1	1	0	0	0	6
工大	0	0	0	0	0	0	1	2	2	5

決勝

八学光星 020211000 | 6
工大 000000122 | 5

雅が6点を失いながらも粘り強い投球。打線は終盤に底力を発揮した。5点差で迎えた八回は山田毅、工藤寛大の連続二塁打などで2点を返すと九回には砂頼人、葛西凜、館宥丞の二塁打などで1点差まで詰め寄ったが、後続が断たれ、12年ぶりの甲子園出場はならなかった。

全国高校野球選手権大会の組み合わせ抽選会は8月3日、大阪市フェスティバ

ルホールで行われる。
(澤田淳一)